

いばきたの魅力 再発見

キリシタン遺物史料館第15回企画展

もうひとつの隠れキリシタンの里 ー下音羽ー

2025

3.26水 ▶ 5.26月 ※休館日: 4/29、5/6を除く火曜日及び4/30、5/7

開催場所
会場

茨木市立キリシタン遺物史料館

茨木市立キリシタン遺物史料館にて開催中の第15回企画展「もうひとつの隠れキリシタンの里 ー下音羽ー」を見学しました。

本企画では、これまであまり注目されてこなかった茨木市「下音羽」の地に残る隠れキリシタンの歴史に光が当てられており、静かな感動と深い学びが得られる内容となっています。展示の詳細はぜひ現地で直接ご覧いただきたいと思います。茨木の奥深い歴史に触れられる、素晴らしい企画です。きっと新たな発見と感動があると思います。

(※当イベントは、特定の政党・政治活動とは無関係です。)

入館
無料



詳しい情報は、
スマホのカメラで
読み込んで下さい▼



期間中、
楽しく学べるクイズを
実施しています。

参加賞アリ!

母の日

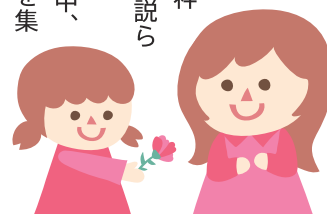
5月の第2日曜日といえ
ば「母の日」。諸説あるよう
ですが、母の日はアメリカで発祥
したとされるのが最も有力な説ら
しいです。

アメリカで起きた南北戦争中、
「母の仕事の日」として、女性を集
め、敵味方関係なく負傷兵の救護を行った
女性がおられました。その女性の死後、ウエス
トバージニア州出身の娘のアンナ・ジャービス
が、1908年に亡き母アン・ジャービスをし
のんで教会で追悼式を行ったことが「母の日」
の由来とされています。式では、参列者に亡き
母が好きだった白いカーネーションが配られ
たそうです。

これがアメリカ全土に広がり、1914年
に当時のウィルソンアメリカ大統領が、5月
の第2日曜日を「母の日」として制定しまし
た。母が他界している場合は白いカーネー
ションを、母が健在であれば赤いカーネーシ
ョンを贈るのが慣わしとなったのだそうです。

日本で母の日を祝うようになったのは、明
治時代後期とされていて、日本中に広がった
のは、お菓子メーカーが『母の日大会』と大々
的なキャンペーンを行ったことがきっかけと
言われています。たしか、バレンタインデーも
お菓子メーカーだったような…

ほっこりとした日本らしい話ですね。
今年も、母にカーネーションを贈ろうと思
います。



日々の活動を発信しています。
チェックしてください。



Facebook



X



HP



LINE

発行

にきかずよし事務所

〒567-0009 茨木市山手台 5-13-24

TEL:070-9102-1155 FAX:072-344-5249

プロフィール

1973年大阪出身
元シングルファーザーとして障がいのある娘を育てた経験を活かそうと政治家を志す。議員秘書や医療系民間企業を経て、2025年初当選。
立憲民主党 いばらき未来の会 建設常任委員会 委員 アムネスティインターナショナルにわグループ所属
大型自動車2種免許

